

大規模地震災害に備えて「防災訓練」を実施

TATEYAMA SABO



令和6年9月3日、北陸地方整備局は大規模な地震発生を想定した防災訓練を実施しました。この訓練は、災害発生時において迅速かつ的確に対応する事ができるように、発災後の初動対応手順の確認及び情報収集・伝達・共有体制の確認、さらに関係機関との連携の確認を行う訓練です。

立山砂防事務所では、災害対策支部を設置し、職員及び工事現場の安否確認や情報の収集・伝達、管内の巡視点検、UAVによる現地映像のリアルタイム情報伝送、管内の巡視点検訓練等を行い、万が一に備えて初動体制の確認と災害時の迅速な対応力の更なる向上を図りました。

令和6年度 北陸地方整備局防災訓練（地震災害） 【立山砂防事務所支部】

実施日：令和6年9月3日（火）
9:00～12:00

参加者：立山砂防事務所全職員

訓練項目

- ①災害対策支部の設置運営
- ②職員及び工事現場の安否確認
- ③情報の収集・伝達
- ④UAVによる現地映像のリアルタイム情報伝送
- ⑤管内の巡視点検
- ⑥被害状況把握

地震の規模・震度（想定）

- ・地震の震源地：新潟県 越佐海峡
- ・発生時刻：午前9時
- ・震源の規模：Mw 8.0
- ・津波：あり（整備局管内全域）
津波警報発表、最大津波高30cm
- ・各地の震度
震度7…新潟市（最大）
震度4…立山砂防事務所管内

訓練の様子（事務所3階災害対策室）



大型モニターによる情報共有



UAVによるリアルタイム情報伝送



現地映像の共有状況

